

平成 28 年度第 3 回浦安市学校給食センター運営委員会の開催報告

1 開催日時 平成 29 年 2 月 3 日（金曜日）午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分

2 開催場所 浦安市役所 4 階 S 6 会議室

3 出席者等

(1) 出席者（委員） 加藤会長、手塚副会長、下田委員、深澤委員、岸本委員、金畑委員
高野委員、平山委員、大前委員、渡邊委員、福田委員、小張委員、大野
委員 13 名

（事務局）鈴木教育総務部長、石井教育総務部次長、柴田保健体育安全課長
第一・第二調理場 長島所長、板倉副主幹、宇田川主査、鈴木副主査、
宇都木栄養士、伊藤栄養士
第三調理場 林田栄養士、山田栄養士

(2) 欠席 2 名

(3) 傍聴人無し

4 議題

(1) 平成 28 年度学校給食用食材放射性物質検査事業の報告

(2) 平成 28 年度学校給食の提供に伴う異物混入（4 月から 12 月）の報告

(3) 平成 28 年度食育に関する学校給食センターの取組みについて

(4) 平成 29 年度浦安市学校給食センター運営計画について

5 審議事項

(5) 学校給食における食中毒等への緊急マニュアルについて

6 会議経過

教育総務部長の挨拶の後、議事に入った。概要は次のとおり。

(1) 平成 28 年度学校給食用食材放射性物質検査事業の報告

委員からの質疑は次のとおり。

（委員） 今日の給食食材の中に、しいたけ、たけのこが多く入っていた。

これらの食材について出荷制限されている産地があると聞いているが、給食で提供する際には使用する産地を指定しているのか。

（事務局） しいたけ、たけのこについては現在、国内 6 県で出荷制限されており、給食では、出荷制限されていない産地で生産されたものを使用している。

(2) 平成 28 年度学校給食の提供に伴う異物混入（4 月から 12 月）の報告

委員からの質疑は特になし。

(3) 平成 28 年度食育に関する学校給食センターの取組みについて

委員からの質疑は次のとおり。

(委員) 給食残滓を減らすため、野菜の切り方を工夫するとあるが、具体的にどのようなようにしているのか。

(事務局) 小学校給食ではスープ類にハート型に型貫したニンジンクラスごとに2枚入れて、児童に探しながら食べてもらっている。

実際にその日の残滓率が減少している

(意見) 学校の感想として、新1年生を対象に野菜や器具、DVDで給食のできる過程を説明しており、児童からは興味・関心を持たれている。

また、給食残滓については、給食委員会を通し児童に削減を呼びかけている。

(事務局) 給食残滓について、議会でも質問があり関心事となっているが、最近の児童、生徒の食の様子は家庭・学校でどのような傾向か把握していれば、お聞きしたい。

(意見) 生活アンケートでは、給食が楽しい・給食がうれしいと記載している児童が多いが、残滓については担任に聞くと、野菜が苦手ですどうしても残り、カレーライスの際は食べるが食に関して意欲的ではなく、無理に食べさせると学校嫌いになる。

(意見) 好きなものはお替りし嫌いなものは食べない、特に魚が嫌いで、私のクラスではシシャモが多く残り、骨が嫌いとか家庭でも魚を食べないから苦手と言う生徒もいたので、家庭が協力していただければ残滓が削減できるかなと思う。

(意見) 学校の用事で出向いた時、廊下にその日の給食のサンプルがあったが、個人的な意見として、同色系のメニューで、見た目が悪かったと思う。

(意見) 給食をたくさん食べたいが、給食時間が少なく子どもによっては残してしまう。

(委員) 給食の残滓率は平均したものと思うが、献立によって多く残すものは統計をとっているのか。

(事務局) 献立ごとの統計はとっており、人気のない献立も把握している。

和え物が多く残されており、ハムを入れるなど栄養士が日々工夫している。

人気がある献立だけでは栄養バランスがとれない、栄養摂取基準の規定がある。

(4) 平成29年度浦安市学校給食センター運営計画について

委員からの質疑は次のとおり。

(委員) 米飯とパンの回数はなにかの基準があるのか。

(事務局) 週5日間のうち3回を米飯、残り2日間をパンか麺といった割合で提供している。

近隣市でも同様となっており、基準はありませんが米飯を中心に提供するように国から指示がされている。

(委員) 食材購入の業者決定過程や納入業者数は何社くらいあるのか。

(事務局) センター方式では食材を全小中学校分まとめて購入できるメリットがあり、業者も一個当たりの単価を安く提供し、より安く、より良い食材を購入できている。

食材を購入する際に各業者より見本品を提出させ、栄養士や職員が味見や鮮度に合格した食材を提出した業者を見積もり合わせに参加させ業者を決定している。

納入業者数は野菜で7社、食肉では3社、魚介類では6社となっている。

(5) 学校給食における食中毒等への緊急マニュアルについての審議

委員からの質疑は次のとおり。

(委員) マニュアルについて、前回の運営委員会資料を学校に持ち帰り他の教職員と話をしたが、万が一のなんらかの事案が校内で発生した場合、このページを開いたらこのように対処すればよいなど、もっと簡単にわかり易くはできないのかとの意見があった。

(委員) 「使い易い、わかり易い」学校では時間との勝負となり、目次から速やかに対処方法が探せたらとの意見であると思うが、事務局の考え方は。

(事務局) 各項目ごとに、わかりやすいマニュアルとすべく、ポイントの要約を付けた。

連絡体制等はマニュアルの1ページに示してある図であり、フロチャート図はこれで良いかと思う。

(事務局) このマニュアルについては、手元に置いて読んでいただくのが基本となるが、委員から即対応することが学校現場では必要であるとの意見があったことから、簡単な要約版を事務局で作成する。

(委員) 改正版のマニュアルの中に水不足の基本的な対応を盛り込んでいるが、長期間の水不足の場合、給食センターではどのようにするのか。

(事務局) 最近の気象状況については、予想ができないことが多く、湧水で水不足が長期間続く場合があることから、マニュアルに追加した。

水不足が長期の場合、給食としては牛乳、パン、フルーツ類の提供が可能と思うが、それも短期間が限界とってる。

取水制限や給水制限が何日も続き水道の使用が制限されれば、牛乳、パン、カットフルーツの供給にも支障をきたすと思っている。

給食の提供が限界となった場合、校長会や学校の意見を聞きながら、教育委員会として「給食停止」などの判断を、せざる得ないのでないのかと考える。

(会長) 本マニュアルの改訂について第二回運営委員会後に資料を持ち帰って一読し、疑問点をまとめ今回の会議に意見等をお願いした。

マニュアル改訂について各委員の承認があれば、平成29年4月より実施となるが、この内容で承認するか伺いたい。

(委員) 食中毒があった場合、このようなマニュアルで対処方法等を探している時間がないと思うので、要約したものが1ページ程度であれば、学校現場は助かると思う。

(事務局) このマニュアルを基本としてマニュアルとは別に、両面で1～2ページ程度でわかりやすい要約版を別途作成することとし、今回の運営委員会ではマニュアルを改訂するかしないかをお願いしたい。

(会長) マニュアル改訂版についての採決を行い、それとは別に要約したものを事務局に一任することとする。

緊急対応マニュアルの改訂内容について、承認するか伺う。(異議なしの声あり)
異議なしの声があったことから、内容については承認する。

(会 長) 各委員の委嘱期間の関係で、最後の運営委員会となることから議題にはないが、給食運営に対して意見や感想等があれば、この機会にいかがでしょうか。

(委 員) 牛乳については今年度からビンからパックに変更したが、ビンの方がよかったと児童達の意見を聞いている。

変更後に給食センターで子ども達の反応など教えてほしい。

(事務局) 千葉県西部は、浦安市と同じコーシン牛乳が供給されている。

昨年ビン牛乳にしているところが、浦安市、白井市、鎌ヶ谷市、柏市の中学校の4自治体があった。

納入業者よりビンの洗浄機・充填機が老朽化しており、更新のために設備投資するのは難しいことからパックに変更していただきたい旨の話があった。

また、ビンは破損することがある。

各小学校を視察した時には、特に低学年では牛乳ビンが重いことから4人で持って配膳室から教室まで運搬する際に、怪我をする可能性があり危惧していた。

パックの場合、飲む前の重さで55%の減、容器が空の場合では9割程度軽くなり、これらを総合的に判断しパックに変更をした。

(委 員) 牛乳ビンの場合、飲み残した物はすぐにわかるが、パックに変更してから飲み残し量は把握できているのか。

(事務局) パックでは封を開けていない本数はわかるが、飲みかけについては把握できていない。

(委 員) 所属している中学校ではいろいろなケースがあり、少し飲んで残したりしているが、生徒の意見として、牛乳パックは軽いし、容器が捨てやすいので好評です。

(事務局) 牛乳ビンの場合、飲み終わってビンを洗浄していても、誰かが口にしていたので、牛乳パックのほうが安心して飲めると、児童に言われたことがあった。

(会 長) 他に意見や質疑はあるか。(なしの声あり。)

それでは議事について滞りなく終了しましたので、これで終了する。

(事務局) 現運営委員の皆様には、部長より挨拶がありましたように最後の運営委員会となる。これまで長い間、運営委員を務めていただき心より感謝する。

今後も安全で美味しい給食を提供することを誓い、お礼の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

以上